



第1回災害対策委員会を開催しました！

5月19日（木曜日）、ウェブ会議システムを使用し『2022年度第1回災害対策委員会』を開催しました。今回は、千葉県防災危機管理部、防災対策課災害情報室の羽生田宏明室長より『災害時における情報発信・活用について』説明いただきました。千葉県連災害対策委員会委員、事務局など合わせて14名の参加がありました。

「災害時における情報発信・活用について」

羽生田室長より、防災対策課は、災害が発生して災害対策本部が設置されたとき主に災害対策本部での情報の収集や整理・物資の支援をおこなう部署であり、本日は千葉県からの情報発信について説明をしたいと思います。



災害情報室 羽生田室長

県が発信する災害情報

1. 緊急情報＝命に係わる情報

- ・市町村が発信する避難情報（避難指示等）

各市町村が発信している警戒レベルと相当情報

市町村からの避難情報をできるだけ多くの経路で伝達することが重要

- ・市町村の避難所開設情報
- ・ライフライン等の状況（停電情報・交通情報）
- ・被害情報

2. 事前の情報（気象庁、気象台が発信する気象警報・注意報等）

3. 災害への備えについての情報

食料、飲料水の備蓄・地震に備えた家具の固定・自宅の耐震診断

ハザードマップの確認（自宅のリスクを知る）

県からの情報発信

1. 千葉県防災ポータルサイト（WEB ページ）千葉県ホームページより

災害が発生した時には必見

2. Lアラート

市町村が防災情報システムに入力した避難指示や避難所等の情報などをテレビ局やインターネット等のメディアに一括配信

3. 千葉県防災ツイッター

警報級の気象情報が見込まれる場合等において注意喚起している
平時にも防災、消防に関する啓発情報を発信

ちば減災プロジェクト

ウエザーニューズ社が運営するウェブサイトにて、住民がスマホなどで災害や気象情報を投稿し皆で共有して個人や地域の防災・減災に役立てようとするもの。

羽生田室長の説明を聞いた後、「ポータルサイトや減災プロジェクトがパソコンだけでなく社外や配達時にスマホやタブレットでも見れるように対応してほしい」、「災害時に県行政と千葉県連で MCA 無線や衛星電話以外の連絡手段について検討が必要」「ポータルサイトではほぼ情報が網羅されてるので活用している」、「ツイッターは情報の拡散が早いので有効な手段だと思う」、など質問や感想が述べられました。

千葉県連からの報告

佐久間事務局長より、県連と地域生協で行った図上訓練について、発注書の改善と今後も定期的にもう少し幅を広げて訓練をおこなうとの報告があり、参加した地域生協からは、訓練をしたことで問題点が見えたなどの感想がありました。



ウェブ会議の様子



会場の様子